

# 主任育成作業部会

## <タイトルと日程>

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| ①はじめまして       | (平成27年6月15日 さくら)  |
| ②あなたの・わたしの宝もの | (平成27年8月31日 こまえ)  |
| ③あなたなら、どうする？  | (平成27年10月30日 みずき) |
| ④心がゆさぶられたとき   | (平成27年12月7日 リブイン) |
| ⑤変わるということ     | (平成28年2月3日 こまえ)   |
| ⑥まとめ          | (平成28年3月26日 さくら)  |

## <参加メンバー>

猪塚 貴子 (さくら)  
芝 雄一 (こまえ/こだち)  
杉 彩乃 (リブイン)  
中村 晋也 (こまえ/ポンテ)  
畠山 裕之 (みずき)  
柳田 剛 (みずき) ※五十音順

## <ファシリテーター>

野崎 建治郎 (リブイン)



●開催頻度や回数について

- ・2ヶ月に一度のペースはちょうどよい。
- ・2ヶ月に一回のペースは、参加メンバーのことを忘れることなく、現場への負担もなく、適切だった。
- ・あと2回くらい多くても良かった。

●開催曜日について

- ・最初は月曜が多かったが、後半はばらけて施設に影響もなくなった。

B. 研修内容について

① 内容は興味を持てるものでしたか？

●興味をもてた。おもしろかった。

- ・興味もてるものだった。蛭子さん（第3回）はおもしろかった。
- ・普段考えない内容が多く興味もてた
- ・外部研修ではあまりない内容だったのでよかった。
- ・今までの自分をふりかえることができた。よかった。

●内容のわかりやすさ・難しさについて

- ・考えても考えても理解できるまでには至らない内容もあり、新鮮だった。
- ▲わかりやすい内容のときと、自分には難しい内容のときがあった。

●他のテーマについて

- ▲もっと実践的な内容でもよいと思った



おもしろかった！興味をもてた！

内容が難しいときもあった。

② 話し合いで率直に意見交換できましたか？

●率直に言えた。後半は言えるようになった。

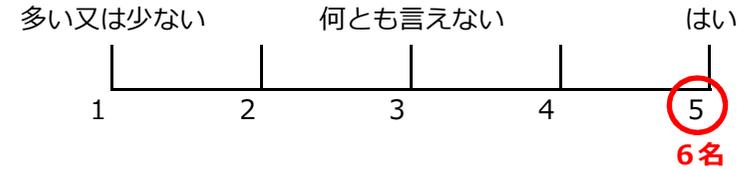
- ・率直にはだいたい言えていた。
- ・初めの頃はなかなか言えなかった。後半は言えるようになった。
- ・年間の後半はわりと言えたかと思う。
- ・最初は意見が言えず、中盤の会では意見が言えるようになり、最後の会で少し率直な意見交換ができた。
- ・相手の出方を探りながら発言することもあったが、おおよそ言いたいことは言えた。
- ▲口下手で考えをまとめるのが不得意なので発言はあまりできなかった。話を聞くのは好きだった。



はじめの頃はなかなか率直に言えなかった。

後半は率直に意見を言えるようになった。

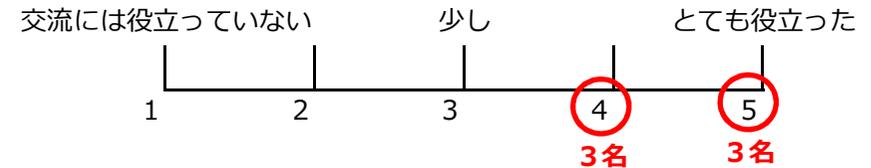
③ チームの人数は適切でしたか？



- 人数はちょうど良かった。
  - ・6人でちょうど良かった。
  - ・6人は適切だった。グループ分けしてもちょうど良かった。(6人1グループ/3人2グループ)
  - ・ちょうど良い。
  - ・良かった。
- 各施設から1名程度が参加。
  - ・各施設1名程度参加は良いと思う。

人数はちょうど良かった！

④ 法人内の交流という目的に沿った内容でしたか？



- 他施設見学・他施設訪問が良かった。
  - ・施設見学が良かった。
  - ・他施設が見学できて良かった。
  - ・見学は役に立った。
  - ・法人内の他施設を見学できて良かった。
  - ・施設見学もとても興味深かった。
  - ・作業部会を各事業所で行ったので雰囲気をよく見ることができた。
- 他施設の人と話す機会が持てて良かった。
  - ・グループワークでの意見交換が良かった。
  - ・普段会うことのない事業所の人と話す機会を持てて良かった。
  - ・同じ立場の他施設の人と意見交換ができて良かった。
- ▲もっと社交的ならさらに役に立ったと思う。

他施設見学が良かった！

交流や意見交換ができた！

### C. ここからは自由にお書きください

①主任育成作業部会の研修目的は何だと思えますか。

→作業部会で示していた目標=①お互いに「仲間」になる ②「率直なやりとり」ができるようになる

●「仲間」になる／「率直なやりとり」

- ・率直なやりとりを行う。仲間をつくる。
- ・率直な意見が言い合える仲間になること。

作業部会の目的が理解・浸透していた！

●コミュニケーション、関係性、指導、リーダーシップ、育成、ふりかえり

- ・相手を理解すること、自分を理解してもらうこと  
→対人との関係性を学び、指導できる人材になること。
- ・リーダーシップを持ち、現場の職員としっかりコミュニケーションができるようになる。
- ・人材育成、自身のふりかえり。
- ・一定のレベルの主任育成

自分なりに目的を設定・理解していた！

②主任育成作業部会の研修プログラムで印象に残ったこと、要望などをお書き下さい。

- ・「自分の大切なもの」を紹介するプログラムがとても印象に残った。（第2回）
- ・「宝もの」（第2回）と蛭子さん（第3回）が印象に残っている。「宝もの」を相手に伝える難しさがありました。
- ・蛭子さんをモデルにして育成を考えたこと。（第3回）
- ・すべて印象深かったが、蛭子さんの話（第3回）とDVD（第4回・第5回）は特に印象に残った。
- ・「心がゆさぶられたとき」（第4回）のDVD（『潜水服や蝶の夢を見る』をみて、障害者の入浴や障害者目線の映像を見られたこと。

▲無回答（1名）

各回それぞれ印象にのこるプログラムだった！

③ディスカッション、ファシリテーター(会議の推進役であるプロジェクト委員) についてなど感想があればお書き下さい。

●感謝、お礼

- ・研修の企画や準備など、ありがとうございました。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。

●感想、意見

- ・私自身も緊張していたが、ファシリテーターも緊張していて、全体的に緊張しているときがあった。
- ・ファシリテーターの意図を汲むのに時間がかかることが多かった。

▲無回答(2名)

ファシリテーターの成長・育成も必要!

④事業所から職員をこの研修に参加させる場合に可能な人数をお聞かせください。

- ・1~2名(回答者3人)
- ・1名(回答者2人)
- ・2名(回答者1人)

各施設1~2名の参加なら可能。

内容を変えて継続するとしたら、再度参加したいですか?

- 参加したい/他の職員を参加させたい。
  - ・参加したい。
  - ・可能なら参加したい。
  - ・機会があればしてみたい。
  - ・参加はしません。他の職員にもっと参加させたい。
- ▲無回答(2名)

また参加したい!(参加させたい!)

⑤これからの自分の仕事に役立ったと思う事をお書きください。

●職員とのかかわり、やりとり、チームづくり

- ・他の職員との率直なやりとりができると、職場の団結力もあがり、よい支援につながっていくのではないかと感じた。
- ・まわりとの調和(意見をおしつけない。相手の意見を聞く)。でも伝えることはしっかり伝える。
- ・課題のある職員へのアプローチ方法や考え方を学んだ。
- ・相手と話して理解することが大切だと思う。実践していけたらと思う。

●相手を知る、多面的な角度から見る

- ・「相手を知る」。自分の価値観だけで決めつけない。
- ・さまざまな角度で相手を見て、良いところもしっかり見ること。
- ・一つの角度からだけでなく、いろいろな角度からみていけたらと思う。

相手との関わりややりとり、  
相手を理解する、などについて  
学びがあった!

⑥その他、あれば自由に感想をお書きください。

- ・いろいろと考える機会をもてた作業部会だった。
- ・仕事をする際、いろいろなことを考えながら進めていければと感じた。
- ・いろいろとありがとうございました。とても中味の濃い一年となりました。
- ・今度は違う作業部会がもしあれば参加してみたいと思います。
- ・他施設との交流、大変おもしろく参考になりました。

集計結果は個人が特定できない形で公開します。

ご協力ありがとうございました。

文責： 足立邦栄会人材育成プロジェクト委員会（佐竹、近岡、野崎、小野）

